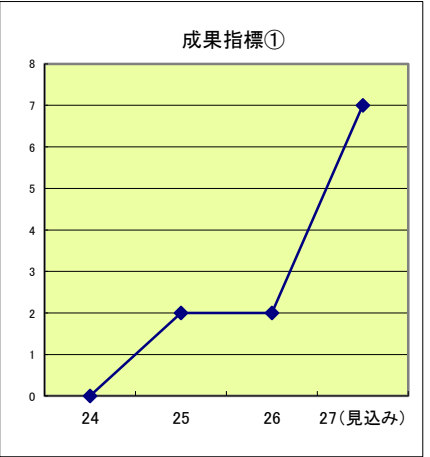
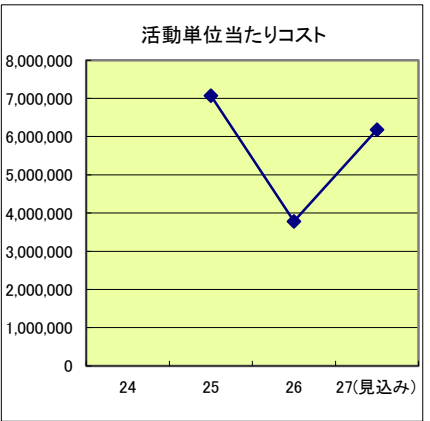


事務事業名			橋梁改修事業		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち			款	8	土木費	
	施策(節)	9	道路交通			項	2	道路橋梁費	
	施策の方向	(2)	計画的な道路整備と維持管理の推進			目	3	橋梁維持費	
関連する計画等					事業	51	橋梁改修		
					作成部署	土木部道路公園課			
					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2243			
事業の概要(目的・内容)			当課で管理している市道認定道路に架かる橋梁は92橋ある。これらの橋梁のうち通学路に指定された道路に架かるなどの56橋を対象とし橋梁の寿命を延ばすため平成24・25年度に点検及び長寿命化修繕計画を作成している。今後その計画に基づき橋梁の補修・点検を行う。 平成24年度：長寿命化修繕計画に伴う点検（56橋） 平成25年度：長寿命化修繕計画書を作成し、2橋維持補修済み 平成26年度：修繕計画に基づき2橋の詳細設計実施 平成27年度：長寿命化修繕計画に伴う2橋の維持補修、5橋の詳細設計実施						
根拠法令等			道路法、道路法施行令、道路法施行規則						
事業期間			☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満（平成 年度開始）						
事業開始時から の状況変化									
実施手法			☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☒ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委 託 先			☐ 市外郭団体委託 名称() ☒ 民間委託 ☐ その他				委託内容		・橋梁長寿命化修繕計画策定、点検 ・橋梁維持補修設計、工事

区 分	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)	2,667	12,348	5,126	40,754
人件費【2】 (千円)	1,380	1,794	2,434	2,512
職員数				
正規職員	0.20 人	0.26 人	0.35 人	0.35 人
再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
臨時職員・非常勤職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費【1】+【2】 【A】 (千円)	4,047	14,142	7,560	43,266
財源内訳				
国庫支出金 (千円)	0	6,655	0	15,737
府支出金 (千円)				
市債 (千円)				
その他(使用料・手数料等) (千円)				
一般財源 【B】 (千円)	4,047	7,487	7,560	27,529
活動指標 (事業の活動実績) 【C】 単位	24年度	25年度	26年度	27年度 (見込み)
① 補修設計及び補修箇所数 橋	0	2	2	7
② 点検及び計画策定箇所数 橋	56	56	0	0
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①) 円	7,071,000	3,780,125	6,180,900	
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①) 円	3,743,500	3,780,125	3,932,757	
市民1人当たりコスト (【A】÷人口) 円	121	65	377	
一般財源【B】の推移(前年度比)		85.0 %	1.0 %	264.1 %



※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ)✓	☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど	☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減
	☐ 3. 物価・賃金水準などの変動	☒ 4. 国庫支出金など特定財源の増減
	☒ 5. その他(平成25年度より橋梁補修工実施)	

成果指標 (事業の達成度)	指標名		単位	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	① 補修設計及び補修実施橋梁数 (式又は説明)	橋	目標	0	2	2	達成率(%)	7			
			実績	0	2	2	100.0%				
		② 点検及び計画策定実施橋梁率 (式又は(点検実施数+計画策定実施数)÷(点検説明)必要数+計画策定数)×100	%	目標	50	100	100	達成率(%)	100		
				実績	50	100	100	100.0%			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○	○		○					○	

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	点検及び維持補修の年次計画（5年／回）を調査する事業である為、継続性を要する。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	橋梁の長寿命化計画書作成に必要な調査・点検であり、橋梁の維持に効率的な事業である。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☐	☐	☒	
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	橋の長寿命化をして行く上にも有効な事業である。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	長寿命化計画策定に伴う点検は100%実施できた。

担当 部局 評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	今後、震災に強い道路施設を維持していくためには、交通路輸送路の重要な拠点となる橋梁の維持が必要不可欠となり、点検実施サイクル(5年)や長寿命化計画に基づき修繕を行なっていく。	

行 革 本 部 評価	総合評価	評価理由・意見
	☒ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止	本市において老朽化が急速に進行する橋梁について、その寿命を延命するため、平成25年度作成の長寿命化計画に基づき、設計及び補修工事を行う事業であり、一般財源の伸びは、設計及び補修工事数の変動によるもので、やむを得ない。 今後も、長寿命化計画に基づき、市民の安全安心を確保するため、適正かつ計画的に橋梁の維持管理を行うこと。